

安保破棄ニュース

No. 505
2019.5.10

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 06-6763-1383
FAX 06-6763-1386
●Eメール ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>

すすめよう！！ 市民と野党の共闘

4月21日、統一地方選挙の後半戦と同時に、大阪12区と沖繩3区では衆議院補欠選挙が戦われ、大阪においては、知事・市長W選挙勝利と府下の党勢拡大の余勢を駆った維新の会が推す候補が当選し、沖繩においては、「オール沖繩」が支援する屋良朝博さんが当選しました。

この敗北の結果を受けても、自民党・安倍政権はどちらの選挙も「地域の特殊事情を反映した選挙」、「参議院選挙には引きずらない」という姿勢

です。

沖繩においては、県民投票に続いて「辺野古新基地建設反対」の決定的な「民意」が示されたにもかかわらず、菅官房長官が「辺野古移設が、安全保障環境と普天間飛行場の危険除去と返還を考えた時に、唯一の解決策だ」という考えに変わりはない」と繰り返すなど、民主主義を冒涇する姿勢を示し、辺野古での工事を続けています。

しかし、彼らがいくら見せかけの工事進展を装い、県民の諦めを誘おうとしても、もはや県民の皆さんが揺らぐことはなく、建設工事は必ずとん挫します。

そのことを確実なものとするためには、今こそ、全国での沖繩に連帯した、しかし同時に、それぞれの地元でのたたかいが求められます。

玉城デニー知事は、工事を強行する政府の民主主義を破壊する姿勢について、「これは全国の自治体にとつても大きな脅威だ」と訴えています。

政府は、沖繩県の埋め立て承認「撤回」を、行政不服審査制度をねじ曲げて取り消し、基地建設を今も行っています。こんなことがまかり通れば、地方公共団体の行政処分にも、政府が意のままに口を挟むことが許されることとなり、地方自治、民主主義の破壊です。

いま沖繩で起きていることは地域の特殊事情ではなく、まさに、全国どこでも起こりえることであり、大きな脅威です。沖繩では、今回の沖繩3区選挙においても、決して余裕をもって選挙戦がたたかれ勝利したわけではありません。しかし、それでも辺野古新基地建設が「唯一の解決策」だなどという言葉には感わされぬ「民意」が示される背景には、長い長い不屈のたたかいの中で築き上げた「平和で誇りある豊かな沖繩」を実現することこそが自分たちの求めるものだという、確信が有るのではないでしようか。

今回の選挙では、東村においても「建白書」の精神を守り、北部訓練場でのオスプレイ等の訓練に反対し、N4ヘリパッドの撤去を求める當山全伸さんが当選しています。

大阪12区においても、残念ながら当選には至りませんでした。現場にはいま期待されている「市民と野党の共闘」の具体的な姿が

あり、51名もの野党・会派議員が駆けつけて共同街宣などが行われ、宮本候補の事務所では全国各地からの1000名ものボランティアが活動するなど、展望が示されました。

大阪におけるたたかいは今後も決して安易なものではないでしょう。しかし、決して諦めず、維新政治などではなく「平和で誇りある豊かな大阪」を実現するにはどうあるべきかを探求してたたかい続けるならば、必ず憲法がいきる社会を実現することができると確信します。

共にたたかいましよう！

5・3 おおさか総がかり集会



10連休真ただ中の5月3日、多くの家族連れがのんびりと集まる扇町公園には、府下各地から参加者が続々と詰めかけ、公園の外周道路には、天皇が代替わりしたことまでも利用して、改憲へのムードを盛り上げようとする安倍政権を擁護する右翼が、何台もの宣伝カーを大音量でがなり立てながらトロトロと走らせています。

どんどん気温が上がり、昼過ぎにはTシャツで過ごせるほどの快晴の下、「輝け憲法！平和といのちと人権を！」と銘打った集会は始まりました。

7月の参議院選挙を控えて「市民と野党の共闘」が謳われ、この日も各野党が揃って壇上から、安倍9条改憲許すな、軍事費の増大ではなく社会保障の拡充を、東アジアの平和と核なき世界をめざして、消費税の増税許すなと次々に連帯のあいさつを行いました。

また、リレートークでは沖繩から駆け付けたヘリ基地反対協の安次富さんから大阪へのエールが送られ、核廃絶、くらしと消費税、女性問題について各分野からの発言が続き、全員が高々と「アベ9条改憲ろ！」のポテツカーを掲げて、2万人の集会は大いに盛り上がりました。



当面の予定

5月

- 15日(水) 沖縄連帯ツアー事前学習会①(18:30～民医連)
16日(木) 原発0の会大阪総会(18:30～大阪民医連)
 勤労協・参議院選挙勝利学習集会
 (18:30～中央区民センター)
18日(土) 大阪平和委員会定期総会(13:00～たかつガーデン)
19日(日) 大阪AALA総会(10:00～国国会館)
22日(水) 沖縄連帯ツアー事前学習会②(18:30～民医連)
 後半にツアー説明会
22日(水) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)
23日(木) 大阪府議会開会日「府庁包囲行動」(12:15～大阪城公園)
 大阪市議会開会日行動(12:00～淀屋橋)
24日(金) 大阪憲法会議・共同センター団体・地域代表者会議
 (18:30～エルおおさか)
25日(土) 「夢洲でIR・カジノ開発!!」その環境・安全問題を考える
(カジノ問題を考える大阪ネットワーク)(14:00～阿倍野区民センター)
30日(木) 大阪安保・沖縄連帯ツアー(～6月2日)

6月

- 5日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00～大阪安保)
21日(金) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)
23日(日) 6・23を考えるつどい(14:00～)

《大阪安保沖縄ツアー事前学習会》

第1回:5月15日(水)

「『諦めない』たたかいの源流にせまる」

講師:植田保二さん(大阪安保代表幹事)

第2回:5月22日(水)

「たたかいは今」講師:守山禎三さん(大阪安保事務局長)

両日、18:30～大阪民医連会議室

ツアー参加者だけでなく、どなたでもご参加ください。
参加費無料です。

4月1日に、米海兵隊普天間基地所属の輸送機MV22オスプレイが大阪空港に緊急着陸するという事件が発生しました。これを受けて、近畿各府県の安保破棄実行委員会として、近畿中部防衛局へ「大阪空港へのオスプレイ緊急着陸に抗議し、全国での飛行停止、配備撤回を求める」申し入れ行動を、4月16日に行いました。

事件の概要に関しては一定の説明が近畿中部防衛局の業務課長の方からありましたが、米軍に対しては、「安全管理の徹底の申し入れ」「追加の情報提供を米側に申入れている」という対応しかしておらず、なぜ、大阪空港を緊急着陸の場所とされたのかということも明確にならず、米軍へ抗議するような意思は全くないような回答しかされませんでした。

オスプレイの緊急着陸の経過としては、コックピット内の警告灯が点灯したことにより、パイロットがマニュアルに則って緊急着陸の判断をしたということでした。そして、その安全確認は、米軍の整備士が来るまで行われず、最終的にも米側だけが安全を確認した

日本のどこにも

オスプレイを飛ばすな!

近畿中部防衛局への申し入れ



23 宣伝行動

4月の23定例宣伝行動は、予定通り、23日に行いました。定点定時の宣伝にこだわり、12時から淀屋橋で行いました。

新婦人、大教組、原水協、大阪労連、共産党から弁士を出してもらい、訴えと、ビラ配布、「辺野古新基地建設中止と普天間基地の無条件撤去を求める」署名の呼びかけを行いました。

自転車から手を伸ばしてビラを受け取ってくれる人、日傘を持ちながらも署名をしてくれる人、大阪12区補選と沖縄3区補選のことを話してくる人などがいました。

5月の23宣伝行動は、5月22日に行います。是非、ご参加ください。



ということでオスプレイは大阪空港を離陸しました。

オスプレイの飛行目的にしても、「岩国から厚木への通常の飛行運用」と言うだけで、どこをどう飛んでいたのかということに関しては、「米軍の運用にかかわる事なので分からない」という回答でした。

本来なら、原因解明まで同機の飛行をさせないようにすることが主権国家としての対応であるだろうに、そのようなことは全く考えないという態度でした。

対米従属を当たり前とするような防衛局の姿勢は改めさせなければいけません。